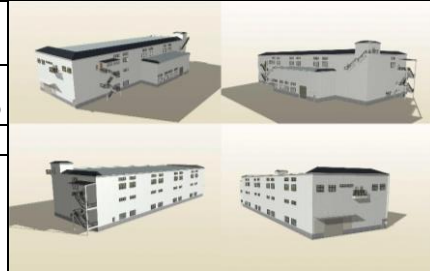


CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)片岡製作所システム工場	階数	地上2F
建設地	京都市南区久世東土川町17番1 他6筆	構造	S造
用途地域	工業地域、都市計画区域(市街化区域)	平均居住人員	30 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 0.0	評価の実施日	2018年6月29日
敷地面積	3,130.28 m ²	作成者	竹本 泰弘
建築面積	1,659.73 m ²	確認日	2018年7月3日
延床面積	3,065.26 m ²	確認者	竹本 泰弘



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

<h4>Q1 室内環境</h4> <p>Q1のスコア= 2.5</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>Q2のスコア= 2.7</p>	<h4>Q3 室外環境 (敷地内)</h4> <p>Q3のスコア= 2.1</p>
<h4>LR 環境負荷低減性</h4> <p>LR のスコア = 2.9</p>		
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>LR1のスコア= 2.7</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>LR2のスコア= 2.9</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>LR3のスコア= 3.0</p>

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
省エネルギー性を高め、温熱環境負荷の低減を図る。		
Q1 室内環境 特に無し	Q2 サービス性能 十分な天井高の確保と、敷地内の緑地を見渡せる窓を配置する。	Q3 室外環境 (敷地内) 特に無し
LR1 エネルギー 省エネルギー基準をクリアする省エネ設備を採用する。	LR2 資源・マテリアル 特に無し	LR3 敷地外環境 省エネルギー基準クリアを目指した断熱性能、設備省エネ性能とすることで、CO ₂ 低減を図る。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される